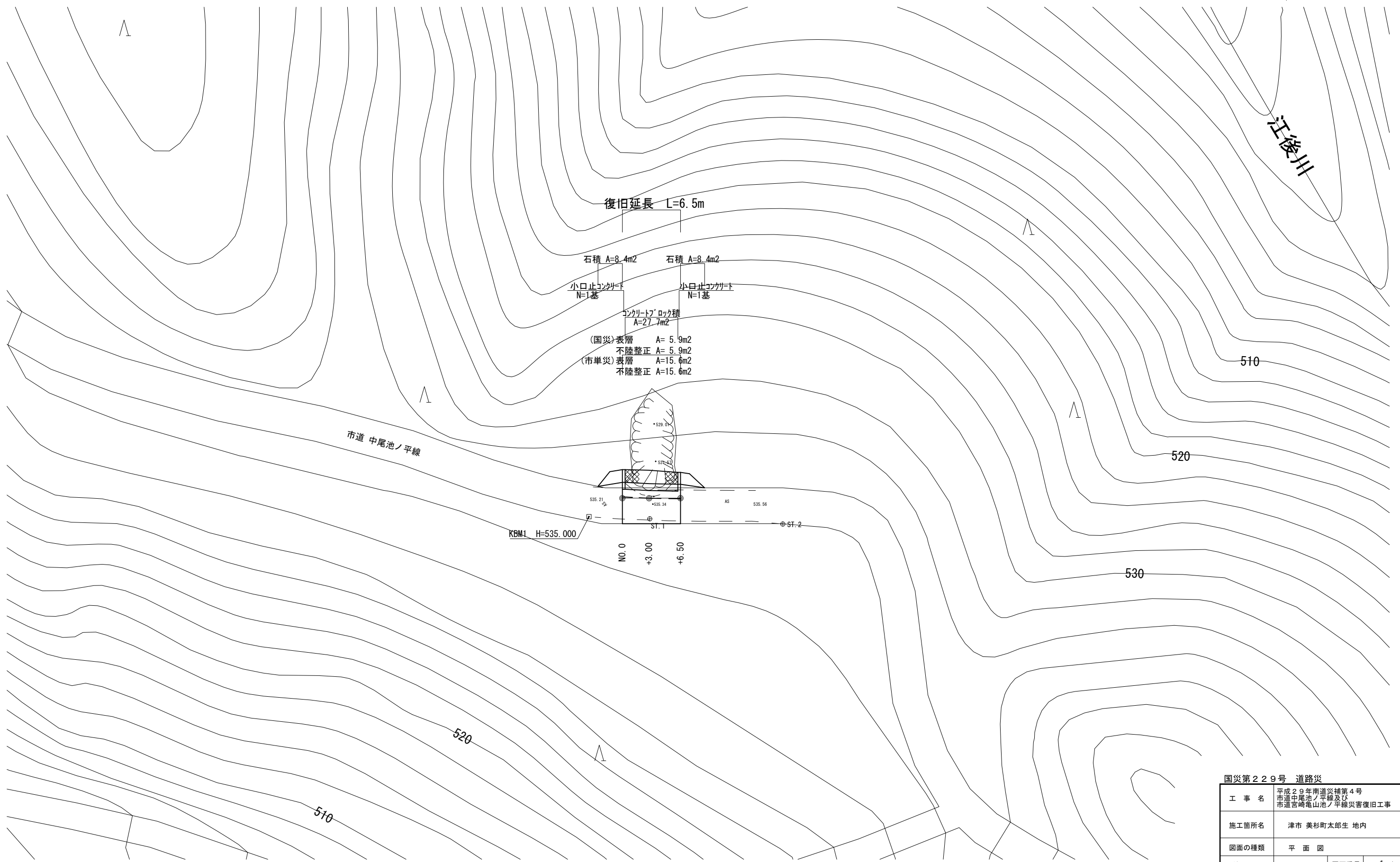
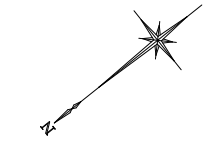


平面図
【市道中尾池ノ平線】 S=1:200

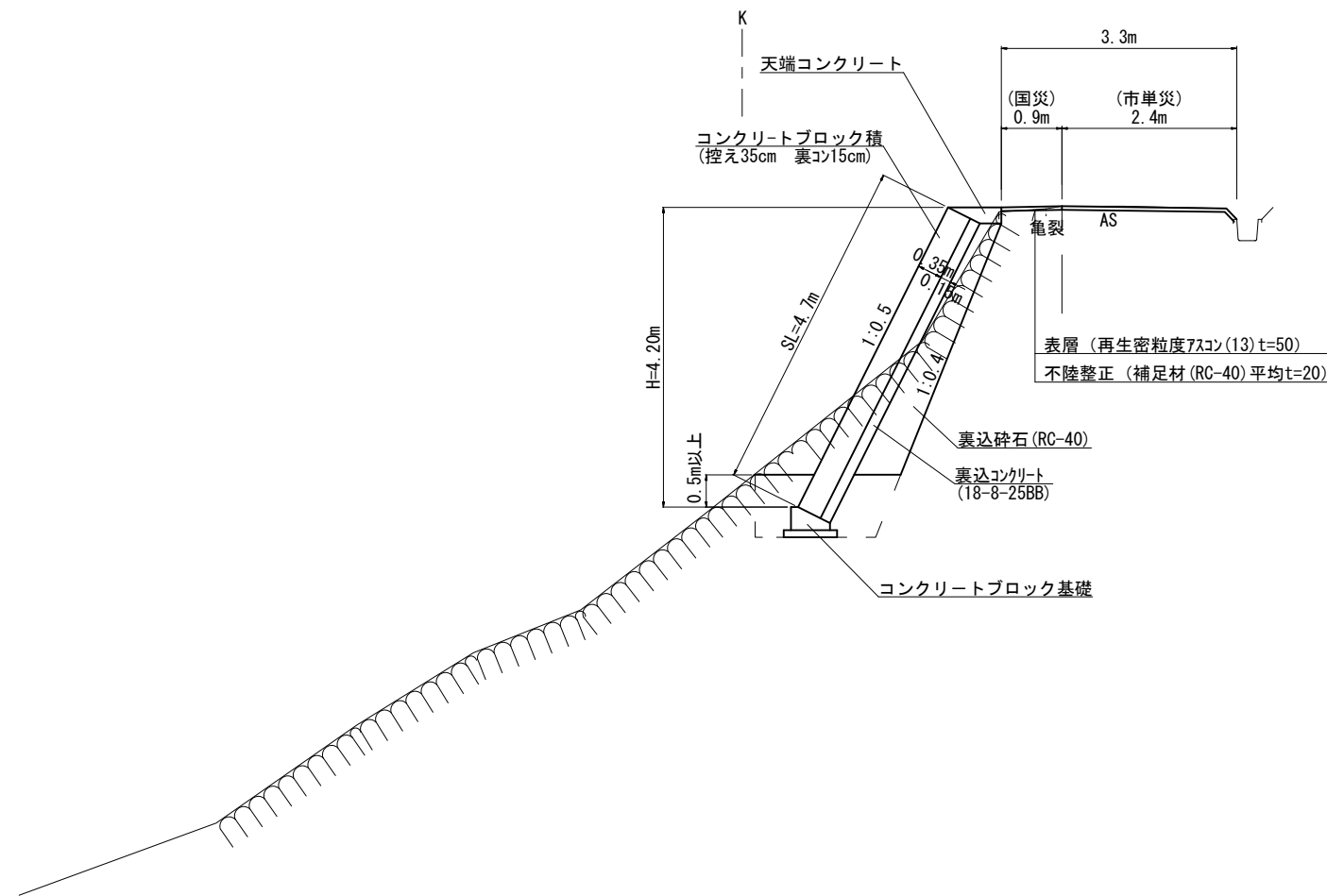


国災第229号 道路災	
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内
図面の種類	平面図
縮尺	S=1:200 図面番号 1/9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所

※この図面はA1サイズを原寸とする。

標準横断面図

【市道中尾池ノ平線】 S=1:50



国災第229号 道路災			
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	標準横断面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	2/9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

横断面図

【市道中尾池ノ平線】

NO. 0+3.00
GH=535.32
FH=

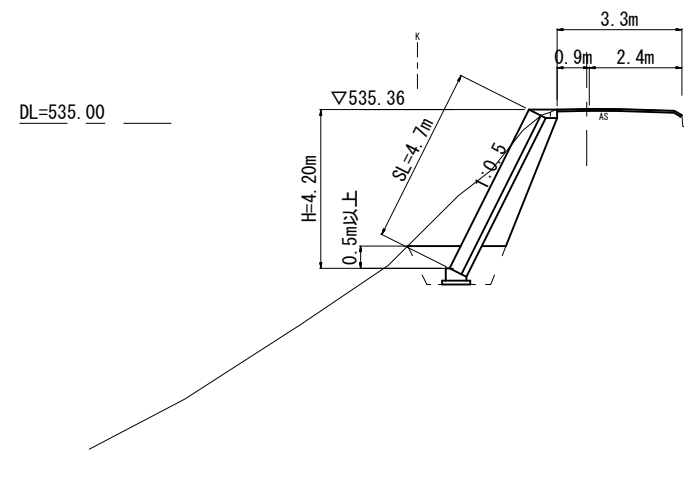
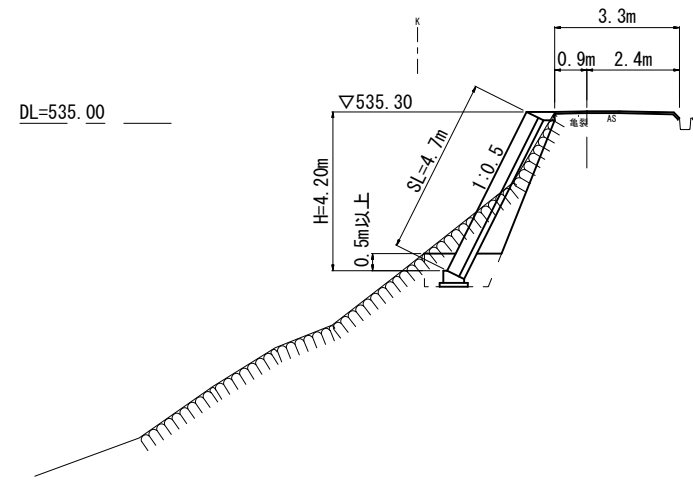
+3.00

種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	2.8	m ²
床掘り(1)	土砂	1.6	m ²
埋戻し	流用土	1.1	m ²
盛土		—	m ²

NO. 0+6.50
GH=535.38
FH=

+6.50

種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	5.2	m ²
床掘り(1)	土砂	2.2	m ²
埋戻し	流用土	1.6	m ²
盛土		—	m ²

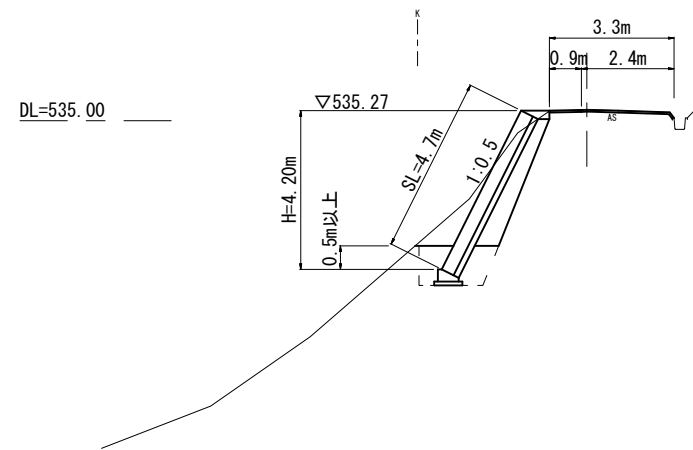


No. 0
GH=535.29
FH=

No. 0

種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	4.1	m ²
床掘り(1)	土砂	2.0	m ²
埋戻し	流用土	1.4	m ²
盛土		—	m ²

掘削 $(4.1 + 2.8) \times 1/2 \times 3.0 + (2.8 + 5.2) \times 1/2 \times 3.5 = 24.4 \text{ m}^3$
 床掘り(1) $(2.0 + 1.6) \times 1/2 \times 3.0 + (1.6 + 2.2) \times 1/2 \times 3.5 = 12.1 \text{ m}^3$
 埋戻し(流用土) $(1.4 + 1.1) \times 1/2 \times 3.0 + (1.1 + 1.6) \times 1/2 \times 3.5 = 8.5 \text{ m}^3$
 残土等処分 $24.4 + 12.1 - 8.5 \div 0.9 = 27.1 \text{ m}^3$



国災第229号 道路災

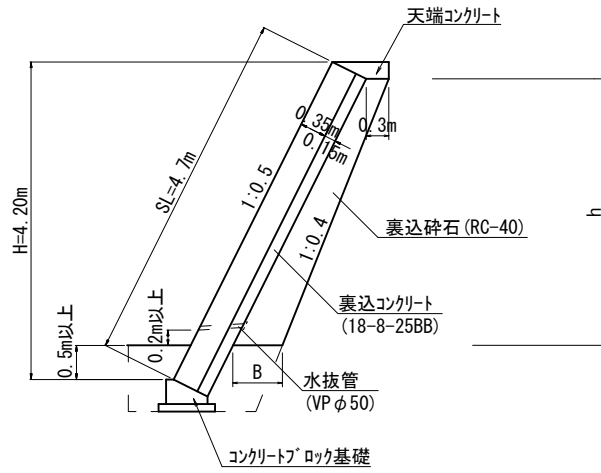
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎電山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	横断面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	3/9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工法図

【市道中尾池ノ平線】

標準断面図 S=1:50



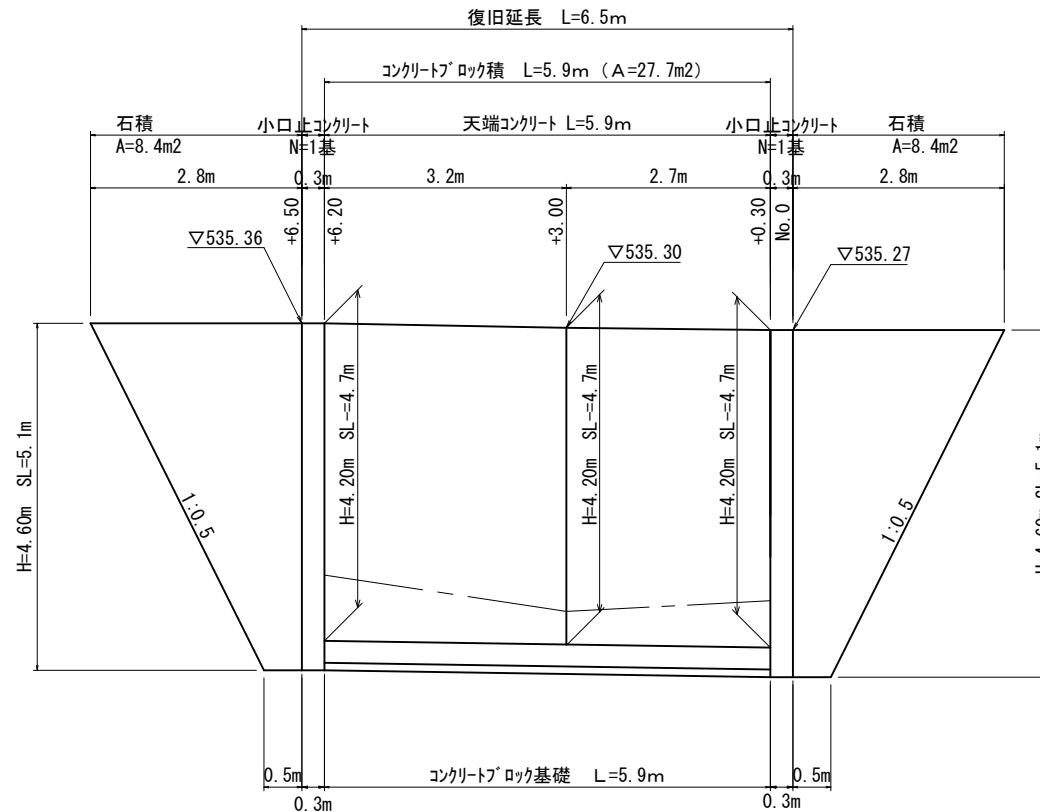
※水抜管 (VP φ50) は3m2に1箇所設けるものとする。

裏込砕石寸法表

測点	H	h	B	数量 (m3/m)
+0.30	4.20	3.4	0.64	1.60
+3.00	4.20	3.5	0.65	1.66
+6.20	4.20	3.4	0.64	1.60

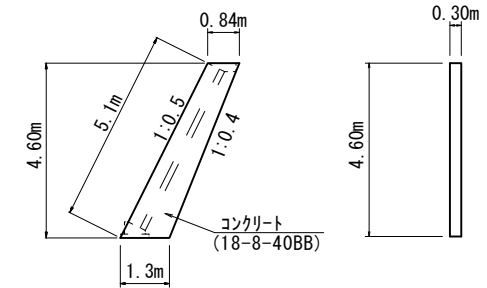
裏込砕石 $V = 1/2 \times (1.60 + 1.66) \times 2.7 + 1/2 \times (1.66 + 1.60) \times 3.2 = 9.6 \text{ m}^3$

コンクリートブロック展開図 S=1:50



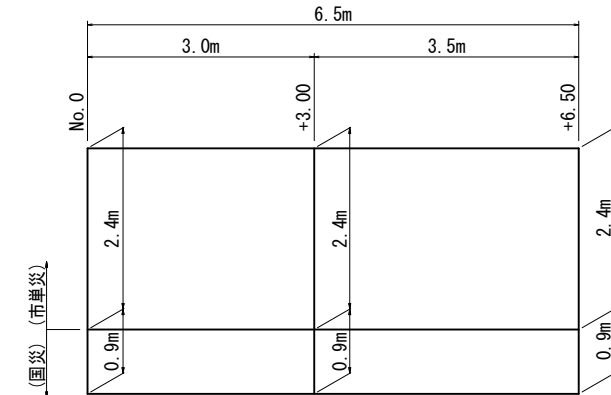
コンクリートブロック積 $A = 4.7 \times 5.9 = 27.7 \text{ m}^2$
 石積 $A = 5.1 \times (0.5 + 2.8) / 2 = 8.4 \text{ m}^2$
 $A = 5.1 \times (0.5 + 2.8) / 2 = 8.4 \text{ m}^2$
 $\Sigma A = 16.8 \text{ m}^2$

小口止コンクリート S=1:100



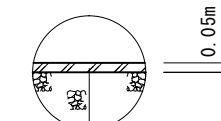
小口止コンクリート (1基当り)
 コンクリート $V = (0.84 + 1.3) \times 1/2 \times 4.6 \times 0.30 = 1.5 \text{ m}^3$
 型枠 $A = (0.84 + 1.3) \times 1/2 \times 4.6 \times 2 + 5.1 \times 0.30 = 11.4 \text{ m}^2$

舗装展開図 S=1:50



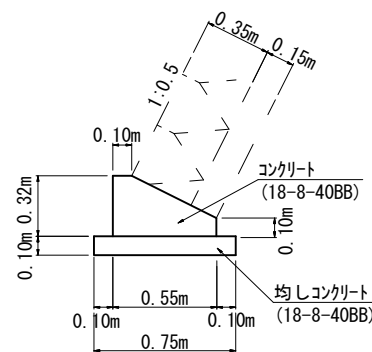
(国災) 不陸整正 (平均t=2cm) $A = 0.9 \times 6.5 = 5.9 \text{ m}^2$
 表層 (t=5cm) $A = 0.9 \times 6.5 = 5.9 \text{ m}^2$
 (市単災) 不陸整正 (平均t=2cm) $A = 2.4 \times 6.5 = 15.6 \text{ m}^2$
 表層 (t=5cm) $A = 2.4 \times 6.5 = 15.6 \text{ m}^2$

舗装構成図 S=1:20



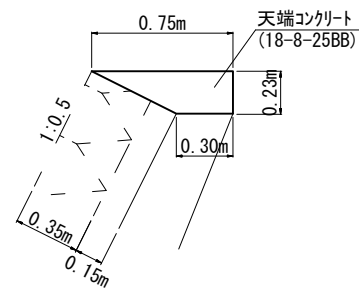
表層 再生密粒度As(13) 2.35t/m3 t=5cm
 As乳剤 プライムコート (PK-3)
 不陸整正 補足材 (RC-40) 平均t=2cm

コンクリートブロック基礎 S=1:20



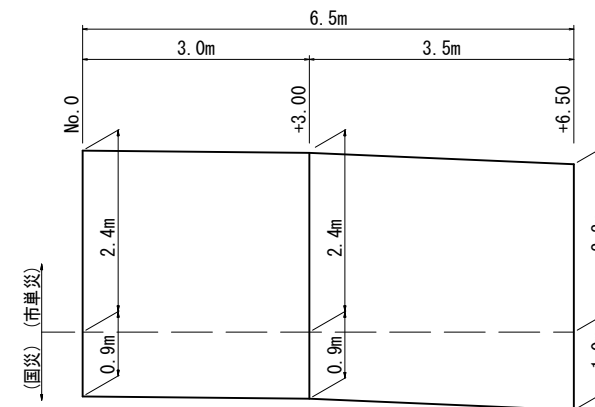
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m3	1.26
型枠		m2	4.20
均しコンクリート	18-8-40BB	m3	0.75
均し型枠		m2	2.00
基面整正		m2	7.50

天端コンクリート S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB	m3	1.21
型枠		m2	2.30

アスファルト取壊展開図 S=1:50



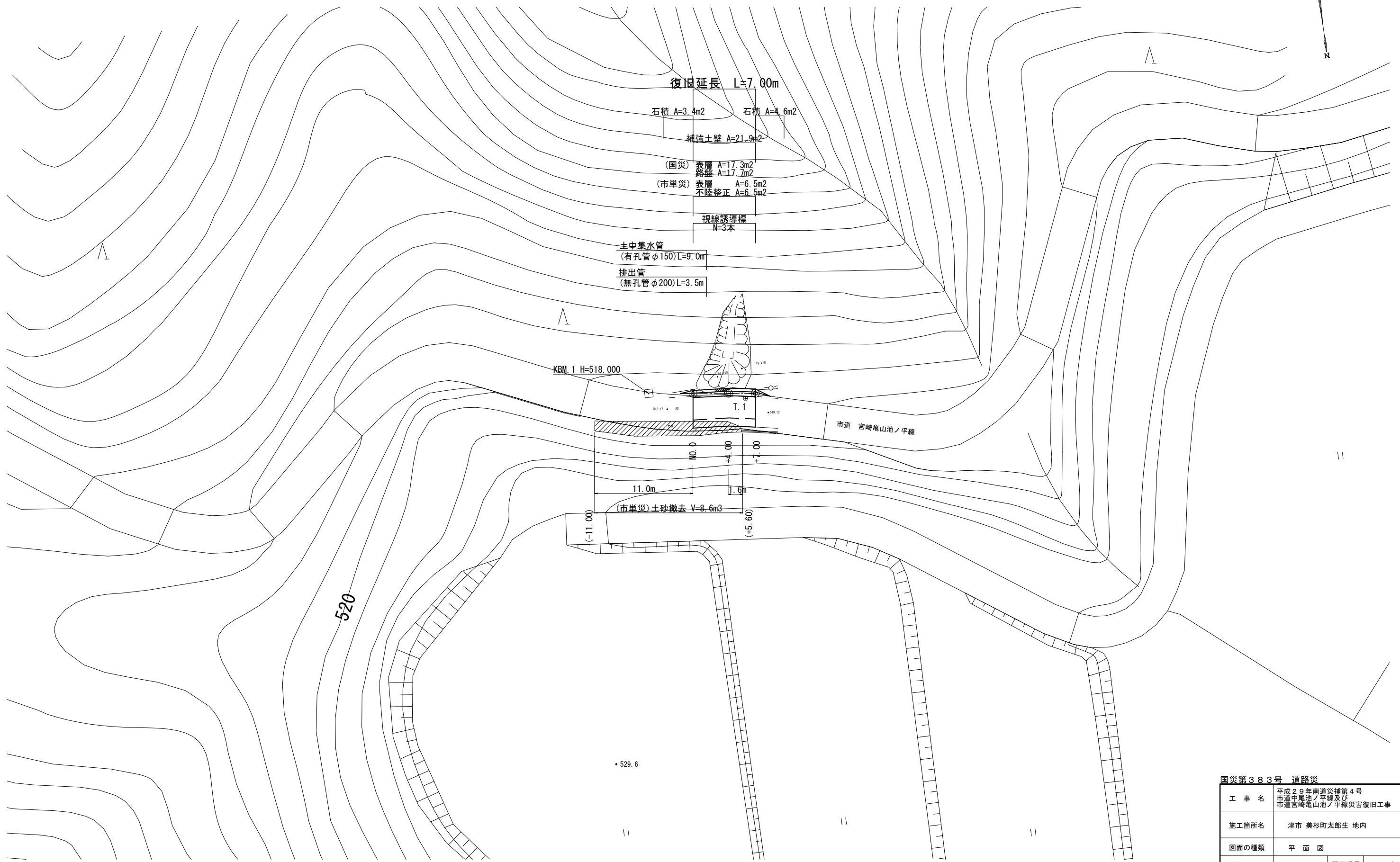
(国災) 舗装版切断 $L = 0.9 + 1.0 = 1.9 \text{ m}$
 舗装版破砕 $A = (0.9 + 0.9) \times 1/2 \times 3.0 + (0.9 + 1.0) \times 1/2 \times 3.5 = 6.0 \text{ m}^2$
 般運搬 $V = 6.0 \times 0.05 = 0.3 \text{ m}^3$
 般処分 $V = 6.0 \times 0.05 = 0.3 \text{ m}^3$
 (市単災) 舗装版切断 $L = 2.4 + 2.3 = 4.7 \text{ m}$
 舗装版破砕 $A = (2.4 + 2.4) \times 1/2 \times 3.0 + (2.4 + 2.3) \times 1/2 \times 3.5 = 15.4 \text{ m}^2$
 般運搬 $V = 15.4 \times 0.05 = 0.8 \text{ m}^3$
 般処分 $V = 15.4 \times 0.05 = 0.8 \text{ m}^3$

国災第229号 道路災

工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び市道宮崎電山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	工法図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

平面図
【市道宮崎亀山池ノ平線】S=1:200



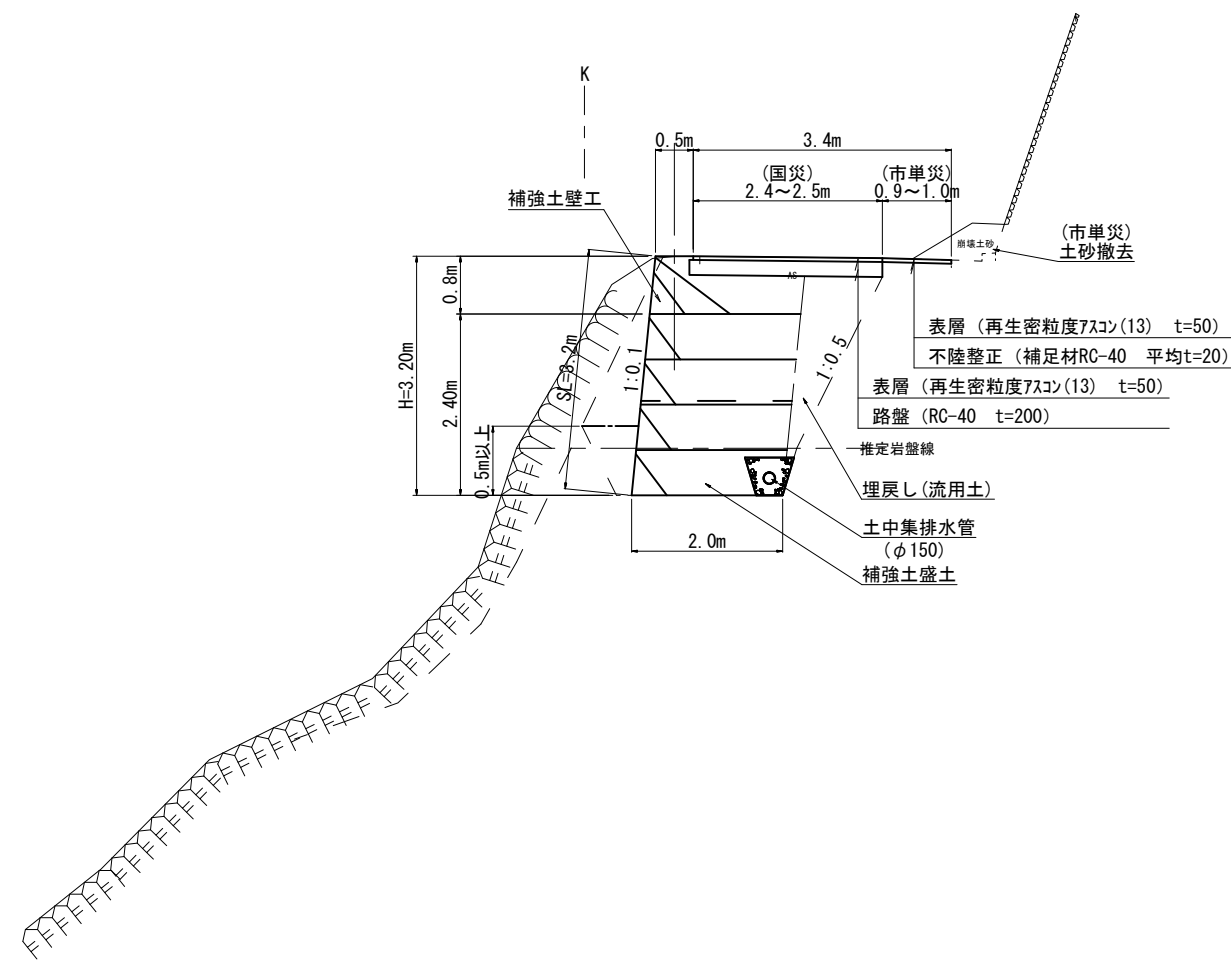
国災第383号 道路災			
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中属池ノ平線及び 市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	S=1:200	図面番号	5 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

標準横断面図

【市道宮崎亀山池ノ平線】

No. 0+4.00



国災第383号 道路災

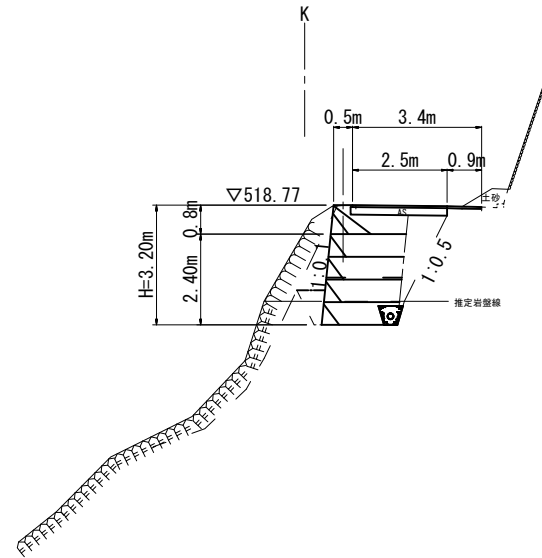
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	標準横断面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

横断面図

【市道宮崎亀山池ノ平線】

NO. 0+4.00
GH=518.76
FH=

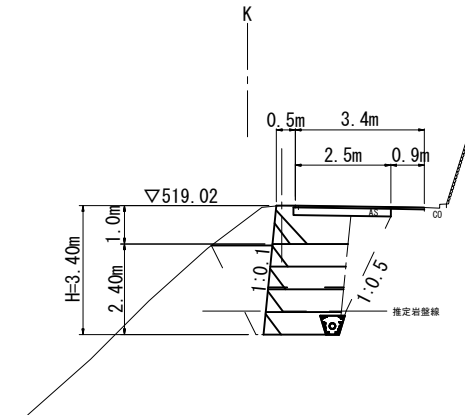


種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	—	m2
床掘り(1)	土砂	7.6	m2
床掘り(2)	軟岩	1.5	m2
埋戻し	流用土	1.8	m2
補強土盛土	土砂	5.7	m2

+4.00 (市単災)

種別	細別	数量	単位
土砂撤去	土砂	0.36	m2

NO. 0+7.00
GH=519.02
FH=

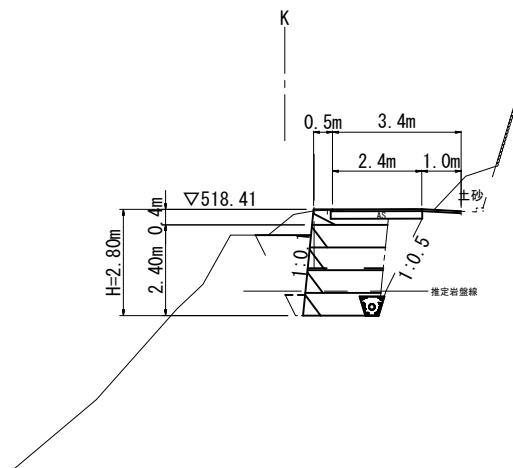


種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	—	m2
床掘り(1)	土砂	10.2	m2
床掘り(2)	軟岩	1.5	m2
埋戻し	流用土	3.6	m2
補強土盛土	土砂	6.2	m2

+5.60 (市単災)

種別	細別	数量	単位
土砂撤去	土砂	0.0	m2

No. 0
GH=518.37
FH=



種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	—	m2
床掘り(1)	土砂	7.5	m2
床掘り(2)	軟岩	1.6	m2
埋戻し	流用土	2.8	m2
補強土盛土	土砂	5.0	m2

No. 0 (市単災)

種別	細別	数量	単位
土砂撤去	土砂	1.0	m2

-11.00 (市単災)

種別	細別	数量	単位
土砂撤去	土砂	0.0	m2

床掘り(1) (土砂) $(7.5 + 7.6) \times 1/2 \times 4.0 + (7.6 + 10.2) \times 1/2 \times 3.0 = 56.9 \text{ m}^3$
 床掘り(2) (軟岩) $(1.6 + 1.5) \times 1/2 \times 4.0 + (1.5 + 1.5) \times 1/2 \times 3.0 = 10.7 \text{ m}^3$
 埋戻し(流用土) $(2.8 + 1.8) \times 1/2 \times 4.0 + (1.8 + 3.6) \times 1/2 \times 3.0 = 17.3 \text{ m}^3$
 補強土盛土 $(5.0 + 5.7) \times 1/2 \times 4.0 + (5.7 + 6.2) \times 1/2 \times 3.0 = 39.3 \text{ m}^3$
 残土処分(土砂) $56.9 + 10.7 - 17.3 / 0.9 = 48.4 \text{ m}^3$

(市単災)
土砂撤去 $(0.0 + 1.0) \times 1/2 \times 11.0 + (1.0 + 0.36) \times 1/2 \times 4.0 + (0.36 + 0.0) \times 1/2 \times 1.6 = 8.5 \text{ m}^3$

国災第383号 道路災

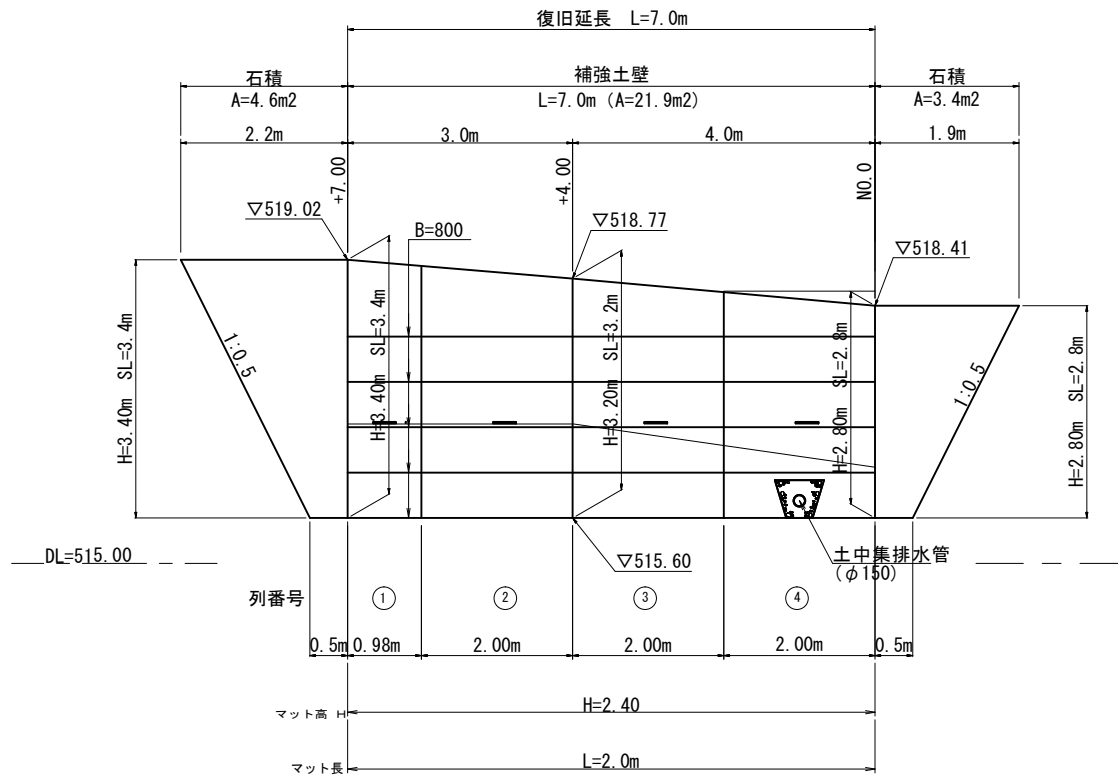
工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	横断面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工法図(1)

【市道宮崎亀山池ノ平線】

展開図
S=1:50



補強土壁工

$$A = (3.4 + 3.2) \times 1/2 \times 3.0 + (3.2 + 2.8) \times 1/2 \times 4.0 = 21.9 \text{ m}^2$$

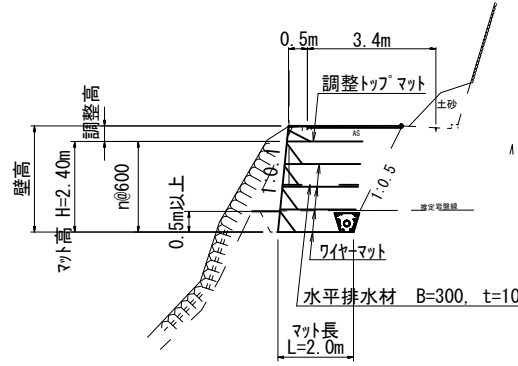
石積

$$A = 3.4 \times (2.2 + 0.5) \times 1/2 = 4.6 \text{ m}^2$$

$$A = 2.8 \times (1.9 + 0.5) \times 1/2 = 3.4 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 8.0 \text{ m}^2$$

標準断面図
S=1:100



補強土壁工

名称	規格	単位	数量	摘要
材料費		式	1.0	
壁面組立工		m ²	21.9	
天端組立工		m	7.0	
暗渠排水工		式	1.0	
補強土盛土		m ³	39.3	
水平排水材		m	8.0	

材料費

名称	規格	単位	数量	摘要
調整トップマットF	φ6.0×5.0-200×150目-800×2000	UN	1.0	
調整トップマットF	φ6.0×5.0-200×150目-1800×2000	UN	3.0	
ワイヤーマットF	φ6.0×5.0-200×150目-800×2000	UN	4.0	
ワイヤーマットF	φ6.0×5.0-200×150目-1800×2000	UN	12.0	
バックマットS	7.5×5.0-100×112目-2000×560	枚	29.0	直~3分用
植生マット		m	50.0	10mロール=5
キャップバー	A型 L=680mm	組	8.0	1分用
キャップバー	B型 L=1220mm	組	3.0	1分用
斜材F	1分用 L=680mm	組	44.0	1分用
トップカバー	鋼製 L=1.0m t=1mm	本	8.0	
TCTタイ	トップカバー用結束バンド	本	9.0	
バックマットS	7.5×5.0-100×112目-2000×560	枚	6.0	端部処理用
植生マット		m	11.0	端部処理用
水平排水材	B300mm t=10mm	m	8.0	

UN: ユニット

設計条件

盛土材の単位体積重量	γ = 19 kN/m ³		
盛土材の内部摩擦角	φ = 30°		
盛土材の粘着力	C = 0 kN/m ²		
盛土材の粘着力 (全体安定計算時)	Ca = 10 kN/m ²		
活荷重	qL = 10 kN/m ²		
雪荷重	考慮しない		
設計水平震度	内的	外的	全体安定
	kH=0.12	kH=0.08	kH=0.08
	常時	地震時	
類似顕著の外的安定	単位	Q1=71.770	Q1=64.481
地震反力	kN/m	Fa≧3.0	Fa≧2.0
支持力の安全率		qa=215.310	qa=128.962
必要な極限支持力	kN/m		

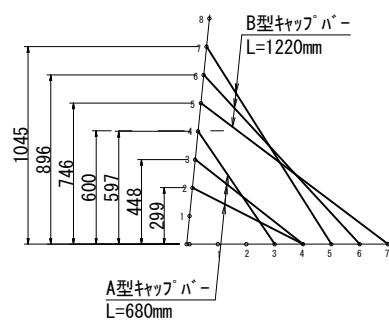
特記事項

- 盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。
(土質材料) : 細粒分の含有量が 25% 以下のもの。
(岩石質材料) : 最大粒径が 300mm 以下の硬岩すり、もしくはスレーキング率 30% 以下の軟岩すり、細粒分の含有量が 25% 以下のもの。
- 掘削時に切土面からの湧水が著しく多い場合は、別途排水対策を追加すること。
- 基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であることを確認すること。
- 補強材と壁面材は一体型で接続部において100%強度を発揮するもの、または、これと同等以上と監督員が認めたものを使用すること。強度低下が見られるものは使用できない。

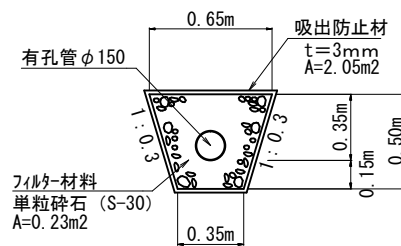
施工管理基準値

項目 (頻度)	基準値
盛土材の締固め度 (盛土材 500mm ² に1回)	・ JIS A 1210 の A, B 法による最大乾燥密度の 95% 以上又は、C, D, E 法による 90% 以上とする。 ・ 細粒分含有量が多い場合 (20% 以上) で上記締固め度が得られない場合は、空気間隙率を 13% 以下とする。 ・ 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・ ±0.03 ± H および 30cm 以内。 ここで H は壁高。

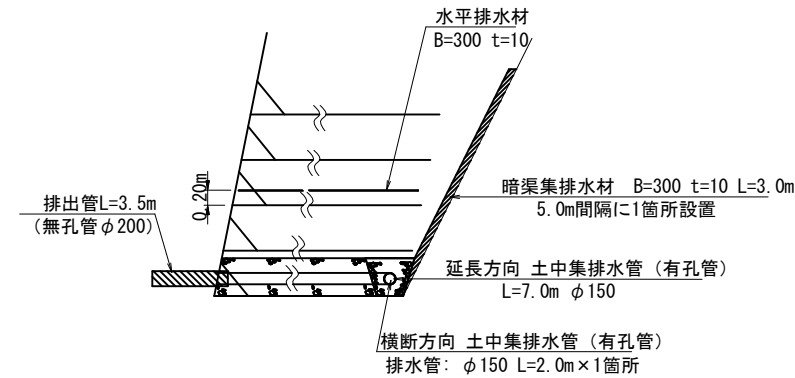
キャップバー取付図
S=1:20



土中集排水管詳細図
S=1:20



排水工標準図
S=1:50



暗渠排水工

名称	規格	単位	数量
暗渠集排水材	B=300 t=10mm	m	6.0
土中集排水管	有孔管 φ150	m	9.0
吸出防止材	t=3mm W=2000mm	m ²	18.5
フィルター材	S30	m ³	2.1
排水管	無孔管 φ200	m	3.5

<注意事項>

- キャップバーは調整トップマット1ユニットに対して、A型3本、B型3本を使用し、調整高さが600mmより低い箇所にはA型、高い箇所にはB型を設置する
- フックを掛ける交点の組み合わせは上図を参考にし、必ず縦筋と横筋の交点に掛ける

※この図面はA1サイズを原寸とする。

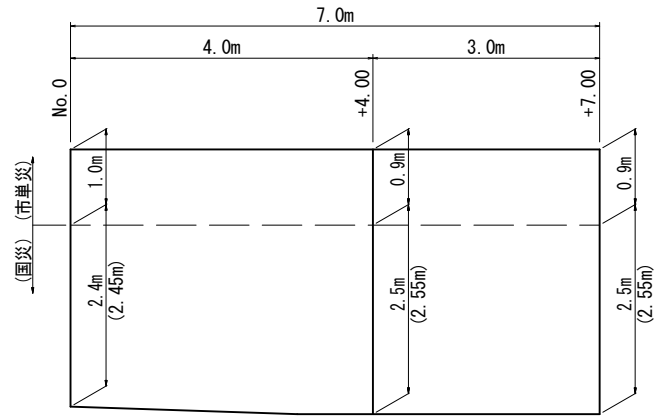
国災第383号 道路災

工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び市道宮崎亀山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	工法図(1)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

工法図(2)

【市道宮崎龜山池ノ平線】

舗装展開図
S=1:50



※ ()内数値は路盤を示す。

(国災)

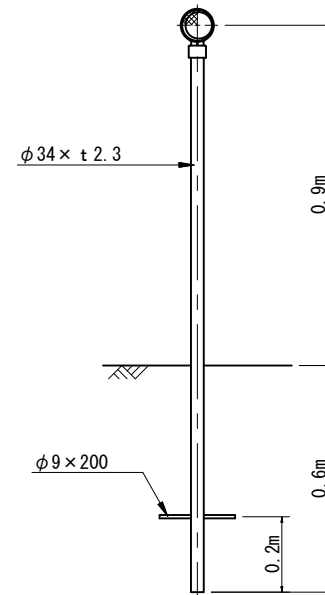
- 舗装版切断 $L = 2.4 + 2.5 = 4.9 \text{ m}$
- 舗装版破碎 $A = (2.4 + 2.5) \times 1/2 \times 4.0 + (2.5 + 2.5) \times 1/2 \times 3.0 = 17.3 \text{ m}^2$
- 殻運搬(As殻) $V = 17.3 \times 0.05 = 0.9 \text{ m}^3$
- 殻処分(As殻) $V = 17.3 \times 0.05 = 0.9 \text{ m}^3$
- 路盤(t=20cm) $A = (2.45 + 2.55) \times 1/2 \times 4.0 + (2.55 + 2.55) \times 1/2 \times 3.0 = 17.7 \text{ m}^2$
- 表層(t=5cm) $A = (2.4 + 2.5) \times 1/2 \times 4.0 + (2.5 + 2.5) \times 1/2 \times 3.0 = 17.3 \text{ m}^2$

(市単災)

- 舗装版切断 $L = 1.0 + 0.9 = 1.9 \text{ m}$
- 舗装版破碎 $A = (1.0 + 0.9) \times 1/2 \times 4.0 + (0.9 + 0.9) \times 1/2 \times 3.0 = 6.5 \text{ m}^2$
- 殻運搬(As殻) $V = 6.5 \times 0.05 = 0.3 \text{ m}^3$
- 殻処分(As殻) $V = 6.5 \times 0.05 = 0.3 \text{ m}^3$
- 不陸整正(t=2cm) $A = (1.0 + 0.9) \times 1/2 \times 4.0 + (0.9 + 0.9) \times 1/2 \times 3.0 = 6.5 \text{ m}^2$
- 表層(t=5cm) $A = (1.0 + 0.9) \times 1/2 \times 4.0 + (0.9 + 0.9) \times 1/2 \times 3.0 = 6.5 \text{ m}^2$

視線誘導標
S=1:10

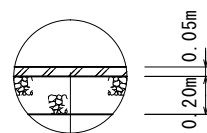
反射式
(土中用：両面)



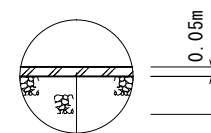
材料表 10本当り

名称	規格	単位	数量
視線誘導標	反射式・両面	本	10.00

舗装構成図
S=1:20



表層	再生密粒度As(13)	2.35t/m ³	t=5cm
As乳剤	プライムコート(PK-3)		
路盤	再生碎石(RC-40)		t=20cm



表層	再生密粒度As(13)	2.35t/m ³	t=5cm
As乳剤	プライムコート(PK-3)		
不陸整正 補足材(RC-40)			平均t=2cm

国災第383号 道路災

工事名	平成29年南道災補第4号 市道中尾池ノ平線及び 市道宮崎龜山池ノ平線災害復旧工事		
施工箇所名	津市 美杉町太郎生 地内		
図面の種類	工法図(2)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 9
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。